

17番 時吉茂治 議員

1 市職員の給与や退職金等の人件費の削減について

- (1) 2018年度の市職員779人の平均給与は600万円（43.3歳）、定年退職者の平均退職金2,085万円、市内民間事業所で働いている市民の2倍ともそれ以上ともいわれている。これら人件費を削減して市民のために資するべきと思うがどうか。
- (2) 特別職の退職金制度を見直す時期にきているのではないか。
- (3) コロナ禍による景気の悪化で税収減が避けられない中、人口減少と少子高齢化が進展し年金、医療、介護、子育て支援、インフラの老朽化対策、ますます猛威を振るう自然災害対策等々財政需要は増えるばかりである。国や県に依存するだけでなく持続可能な財政運営にどのように取り組んでいくのか。
また、市民に新たな負担を求めるのか。
- (4) 合併算定替終了に伴う代替財源の確保の見通しはできたのか。
- (5) 鹿屋市の財政を支えているのは、市内民間事業所で働いている市民である。市内民間事業所の給与実態調査をすべきと思うがどうか。
また、市内50人以上の民間事業所は何か所あるのか。
- (6) かのや短観によると業況D Iはマイナス56と最悪の状態である。市長はどのような認識をもっているのか。
また、かのや短観を市政にどのように反映させるのか。
- (7) 国家公務員の2022年度からの65歳までの定年延長法案が再上程される予定である。可決されれば本市も職員の定年延長条例を上程するはずである。2030年度で61歳から65歳の職員数と人件費の見込みを示されたい。
- (8) 本市の財政力指数と経常収支比率はいくらか示されたい。

17番 時吉茂治 議員

2 西原派出所跡地に隣接する給水塔と西原の平和住宅について

- (1) 垂水市方面より鹿屋市役所への進入と、市街地への進入の玄関ともいえる交差点に立つ給水塔の腐食が激しく景観も悪い。早急に防錆工事を始めるべきと思うがどうか。
- (2) 同じく市役所への進入口にある平和住宅は黒ずみ、これも景観が悪い。外壁塗装工事計画はどのようになっているか示されたい。